

JAM 井関農機労組が車いすを寄贈

空き缶売却などの益金でケアポート益城へ

7月22日、JAM井関農機労働組合熊本支部青年女性部（代表・杉本達昭さん）からケアポート益城の入所者へ車いす1台が贈られました。

この活動は、井関農機が社会貢献活動として2年前から行っているもので、今回は、家庭や工場に出るプルタブ（空き缶のふた部分）やアルミ缶などのゴミを1000kg集めて、業者に売却することで、車いす1台分の基金を集めました。

杉本さんらが「今後もこの活動を通じ、益城地区の方々に親しんでいただけるよう、頑張っていきたい」と車いすを手渡すと、入所者の方々は「大切にに使わせていただきます」と笑顔で受け取っていました。



車いすを手渡す井関農機の代表者

エコクラブ壁新聞で優秀賞

益城中学校のエコクラブ

昨年12月に、熊本県環境センター（水俣市）主催の「こどもエコクラブ壁新聞展」に出展した益城中学校エコクラブの作品が見事優秀賞に輝き、8月5日、同センターで、代表の宇田美穂さん（2年）と竹原莉央さん（同）が表彰を受けました。

新聞は、益城中の前を流れる秋津川に生息する鳥の観察や、緑のカーテンの取り組み、校内にある湧き水の調査などを記事にしました。

現在は、美化作業で集まった草や葉を寝かせてできた腐葉土を使った野菜の栽培やエコクッキングも計画中で、「今年も壁新聞にまとめたい」とのことでした。



受賞を喜ぶ左から村枝直樹教諭、宇田美穂さん、竹原莉央さん



「安全走行テスト」に臨む田代彬君

自転車の安全な乗り方を競う

県大会に益城中央小が出場

今年6月、嘉島町で開かれた御船地区交通安全子ども自転車大会で優勝した、益城中央小学校6年生の田代彬君、松原佑成君、奥田佳穂さん、菊川将君が7月18日、交通安全子ども自転車熊本県大会に出場し、12位に入る健闘を見せました。

大会には県内の小学校から23チームが出場。午前中、学科テストに臨んだ子どもたちは、午後からは実技テストにチャレンジし、交通ルールを守りながら走行する「安全走行テスト」や、S字走行、ジグザグ走行などを行う「技能走行テスト」で、放課後などに練習した成果を発揮しました。



班に分かれて実技訓練を受ける婦人防火クラブの皆さん

万が一に備えて蘇生法を学ぶ

婦人防火クラブが普通救命講習を受講

7月28日、富田セツコ婦人会長ほか、町婦人防火クラブ約30人が高遊原南消防署で、心肺蘇生法とAED（自動体外式除細動器）の救命講習を受けました。

この講習は、富田会長が偶然、人が倒れる現場に居合わせ、その時「町で大きな災害が起きたときなどに備えて、地域の代表である婦人会でも蘇生術を詳しく学んでおくべき」と思ったことがきっかけで開催されました。

蘇生術を真剣な表情で学んだクラブ員たちは、修了証を手にして気持ちを新たにしていました。